

男沼女沼叙景に徹し切って冬

中村 晋

土湯を訪ねて

「こけしの里から沼を巡るみち」

は福島市土湯温泉町をスタート、ゴールに女沼、仁田沼、男沼を巡ります。俳句は第58回県文学賞俳句部門

ここから、しばらくアスファルトのなだらかな上りが続きます。木や畑を見たり、景色を眺め進みます。松の木も多く、道の端にたまった松の葉も踏みしめます。

途中、大きな山紅葉を見上げました。池田さんが一番気に入っている木だそうです。ライトアップしたら、さぞかしきれいなことでしょう。

省略の果てのひとすじ冬の滝

猿の糞踏むなよ猿が笑つてるぞ

急な坂道を下って男沼に到着。沼の水は輝き、正面の山の影が水面に映っています。色づいた葉とのコントラストも美しく、しばし足を止めて絶景を満喫します。

温泉街へと山を下ります。赤や黄色の木々が広がる風景に別れを告げるのが、名残惜しくなります。マイナスイオンいっぱい森林セラピーが体験できました。

土湯温泉バス停を出発し、荒川に架かる月乃湯橋を渡ります。左手の階段を上ると、皇后陛下の歌碑に着きます。そばで、令和にちなんで植樹された梅の木が育っています。

程なくして「不動湯入口」の看板が見えてきます。さらに行くと、仁田沼とのY字路になります。右側の女沼の方へ進みます。

「思いの滝」は、二筋の滝が折れ重なって一筋の滝になっています。滝の名前は、会津落城の際の若武者

無になりゆく愉しき冬の木の明るさ

猪(しし)の跡鼻息荒いや つもいるな

緩やかな上りの途中、池田さんがミズメの木のおいをかがせてくれました。湿布薬そのものでした。ネーチャー教室の時は必ず説明するそうです。においをかいで体が少しシヤキツとした気がします。

杉と紅葉と杉の樹間を埋める黄葉(もみじ)

「熊出没注意」冬帽かぶりなおす

2018(平成30)年に散歩中の男性が熊に遭遇した場所とのことです。英語やハングルでも表記されています。

冬に向かう土湯路を満喫しながら歩き、女沼に到着です。案内板には、女沼は海拔532.3m、面積0.12平方m、深さは約8mで、ハヤ、ヤマメ、イワナ、マス、タナゴが生息とあります。沼のほとりには土湯八景歌碑のこけしが、まるで番人の

小鳥来て熊の域だと言つて去りぬ

「新奥の細道」の看板には熊の爪痕と思われる生々しいキズがあらました。

ロシアの人に謙虚な歩幅冬森行く

入選・奨励作品①

東北自然歩道

新奥の細道を行く

～11～



女沼と土湯八景歌碑のこけし

しばらく坂道が続く、黙々と木立の中を進みます。 やっとたどり着いた仁田沼で休憩

次回3月12日号に掲載

第1回芭蕉白河の関俳句賞

入選・奨励作品①

◆ジュニアの部 神野紗希選▼奨励

- 夏木立どうとなくせみしぐれ 大屋小4年 君島利子
- 風ふいてそらはしゅん桜空 青森県千歳平小4年 田村涼華
- 虹の根を探しまわった日は遠く 白河中央中3年 金子雅樹
- 吐いた息濃く重くなる十五の冬 白河中央中3年 二瓶友樹
- 車椅子祖父のせ押しで花火待つ 白河二中3年 井上獅月
- 焼き芋を削けて一緒に食べようよ 白河二中2年 関山翔太
- 稲たちが風にゆられて流れ星 五箇中1年 松崎結柳
- 冬休み松尾芭蕉に会いに行く 東北中1年 渡邊有保
- 小峰城焼芋片手に見る僕 東北中3年 舟部元気
- うぐいすは桜の花にとまっていた 白河南中3年 鈴木千尋
- 風がふく遠くの空にオリオン座 表郷中2年 野田健心
- 夏帽子かぶって行った映画館 表郷中2年 市川響日
- この汗をばやくとほしてせんぶつき 東中3年 鈴木凜夏
- ほかほかの焼芋一つ半分こ 大信中1年 吉田美優
- はっくしょんティッシュなくなる春の町 大信中3年 円谷琉希
- 入学を願ひ白河タルマ買っつ 富田中3年 佐久間陽太
- 蛇の衣わたしも脱ごう自分の殻 宮城県郡山中2年 柴崎来夢
- 遊具下猫の子集り朝かいぎ 埼玉県福原中2年 天貝快吏
- ゴミ箱のすべとなりよこスミレかな 埼玉県福原中3年 井上由衣花
- ドアの裏見えない秋の風が吹く 埼玉県福原中3年 石黒彩奈
- ビー玉というとりどりの花と春 埼玉県福原中3年 大橋風花
- しゃぼん玉はじけた時に桜咲く 埼玉県福原中3年 渡辺クリスティ
- すきとおるきびなごうまじこしき島 鹿児島県坂元中1年 梅ヶ谷志織
- ちやぶだいの柿羊羹と玄米茶 鹿児島県坂元中2年 塩浦琥珀
- 春一番めくられてる日記帳 愛知県供米田中3年 渡辺美愛
- 小みねじょうかべにくつくくかぶと虫 千葉県白井小2年 高橋優飛
- (大賞、特選、秀逸は1月16日号に掲載済み)